



令和4年度 学校だより

伏見板橋 前期 学校評価

令和4年11月1日

京都市立伏見板橋小学校 TEL 075-611-5158 FAX 075-611-5290

校長 竹原 正樹 mail:itahashi-s@edu.city.kyoto.jp



9月に行った学校評価アンケートでは、多くの保護者の方々から回答をいただきありがとうございます。お忙しい中、保護者・地域の皆様にはご協力いただき、感謝申し上げます。

昨年度より本校児童につけたい資質・能力を「自己指導能力」と定め、自己指導能力を高めるための手立てとして、生徒指導の三機能（自己存在感を与える・自己決定の場を与える・共感的な人間関係を育む）を活かした教育活動を進めて行くことを実践しております。そのため、今年度の学校評価はその視点で検証を進めていけるアンケート項目に変更し、6者のアンケート項目をできる限り合わせ、同じ内容について、それぞれの立場からのご意見を集約することができました。この結果を教職員一同で共通理解し、よりよい学校づくりのために改善を図っていききたいと思います。結果の顕著な部分を取り上げ、考察等をご報告させていただきます。その他、ご不明な点や不安な点がありましたら、ご遠慮なく学校の方へお尋ね下さい。

※ **自己指導能力とは…「その時、その場で、どのような行動をとることが適切であるか自分で判断して行動できる力」**

	「学校教育目標」 夢をもち、自らの未来を創る 子どもの育成 ～考え 判断し 実行する～	よく(とても)						どちらかといえば						あまり						出来ていない(ない)					
		低学年	中学年	高学年	保護者	地域	教職員	低学年	中学年	高学年	保護者	地域	教職員	低学年	中学年	高学年	保護者	地域	教職員	低学年	中学年	高学年	保護者	地域	教職員
決	3 あなたは、きょうみや関心をもち、自分から進んで学習に取り組んでいますか。	67%	39%	28%	30%	29%	20%	26%	45%	53%	57%	57%	80%	5%	15%	16%	12%	14%	0%	1%	1%	3%	0%	0%	0%
	5 あなたは、自分の考えをみんなに伝えてありますか。	46%	34%	22%			30%	27%	39%	41%			70%	22%	27%	34%			0%	5%	1%	3%			0%
	13 あなたは、当番やかかりの仕事を最後までやり遂げていますか。	87%	69%	56%	26%		20%	11%	28%	41%	50%		80%	2%	3%	2%	23%		0%	0%	0%	1%	2%		0%
共	7 あなたは、友だちが発表しているとき、うなずいたりしながら話をよく聞いていますか。	79%	58%	45%			50%	15%	34%	47%			50%	5%	9%	8%			0%	1%	0%	0%			0%
	10 あなたは、友だちと話し合いをしながら学習できていますか。	64%	54%	57%			60%	25%	31%	36%			40%	7%	15%	5%			0%	4%	0%	1%			0%
存	9 あなたは、友だちと学習するのは、楽しいですか。	84%	80%	65%			60%	14%	13%	26%			40%	1%	6%	6%			0%	1%	1%	3%			0%
	14 あなたは、学校が楽しいですか。	73%	64%	61%	47%	57%	40%	20%	25%	27%	47%	43%	60%	4%	9%	5%	6%	0%	0%	3%	2%	7%	1%	0%	0%
	11 先生や友だちは、あなたのがんばりをほめてくれますか。	54%	47%	48%	50%	50%	80%	30%	40%	41%	44%	50%	20%	14%	13%	8%	6%	0%	0%	2%	0%	3%	0%	0%	0%
自尊心	15 あなたは、自分のことが好きですか。	59%	35%	28%	45%	43%	30%	18%	42%	39%	51%	43%	60%	15%	15%	21%	4%	14%	10%	8%	9%	13%	0%	0%	0%
	16 あなたは、自分のよいところがわかりますか。	58%	39%	28%	26%	14%	20%	23%	34%	36%	56%	43%	60%	11%	18%	24%	17%	43%	20%	8%	9%	11%	2%	0%	0%
	17 あなたは、自分のなおした方がいいところがわかりますか。	58%	54%	65%	22%	14%	20%	21%	36%	27%	48%	43%	50%	12%	8%	5%	27%	43%	30%	8%	2%	3%	3%	0%	0%
	22 あなたは、失敗をおそれず、いろいろなことにチャレンジしていますか。	65%	38%	22%	20%	14%	20%	25%	44%	45%	47%	43%	30%	10%	18%	27%	32%	43%	50%	1%	1%	5%	2%	0%	0%

「自己決定の場を与える」(決)について

問1「あなたは、きょうみや関心をもち、自分から進んで学習に取り組んでいますか。」では、(低)93%(中)84%(高)81%が肯定的に捉えている。各教師の授業展開の工夫への取り組みが高水準の結果につながったと考えられる。これからは、学習において自ら決定し実行する経験を積み重ねることによって自己指導能力が育成されると考えているので、低の10%、中・高の20%の児童も肯定的に捉えられるような支援を行っていききたい。

問5「あなたは、自分の考えをみんなに伝えてありますか。」で「自分の考えを進んで発表している方だ」ととらえている児童が(低)73%(中)73%(高)63%であることが分かる。言葉にして伝えることの大切さを理解し、できるだけ分かりやすく伝える技術の習得は、自己指導能力を育てる上で大切なので、低・中の約3割、高の約4割の児童への支援を後期に考えていききたい。

「共感的な人間関係を育む」(共)について

問7「あなたは、友だちが発表しているとき、うなずいたりしながら話をよく聞いていますか。」では全体の9割以上が肯定的に、問10「あなたは、友だちと話し合いをしながら学習できていますか。」では低・中が85%、高はさらに上がり93%が肯定的に捉えている。ここから子どもたちが相手の立場を尊重しながら聞き、学習を進めていることがわかる。その中でも「対話」を重視し学習を進めていることが結果にも結び付いている。

「自己存在感を与える」(存)について

問9「あなたは、友だちと学習するのは、楽しいですか。」は9割以上、問14「あなたは、学校が楽しいですか。」は約9割の児童が「あてはまる」と肯定的に回答している。友だちとのかかわりの中で楽しさを味わい、友だちから大切にされていると感じることができているからだと考え。一方で、約1割の児童が「楽しいと思わない」と否定的に回答している。学習での困り、友だち関係の悩み等が要因と考えられる。その部分での教師の支援を必要としていることは確かである。